



平成28年10月27日

各位

会社名 株式会社タカラトミー
代表者名 代表取締役社長 ハロルド・ジョージ・メイ
(コード番号 7867 東証第1部)
問い合わせ先 取締役常務執行役員連結管理本部長
小島 一洋
(電話番号 03-5654-1548)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、下記のとおり平成28年5月10日に公表した平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値を修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成29年3月期第2四半期において特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 78,000	百万円 1,000	百万円 700	百万円 200	円 銭 2.35
今回修正予想(B)	76,500	2,500	1,600	500	5.80
増減額(B-A)	△1,500	1,500	900	300	—
増減率(%)	△1.9	150.0	128.6	150.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	77,805	838	710	261	3.07

2. 修正の理由

売上高は、国内玩具市場における販売が好調に推移しているものの、会社想定以上に為替が円高となっており、海外売上高が減少し76,500百万円となる見込みであります。

営業利益は、利益率の高い国内の玩具ビジネスが好調なため、当初予想を1,500百万円上回る、2,500百万円となる見込みであります。

経常利益は、為替相場の変動により、当社の保有する在外子会社に対する外貨建債権の評価替え等に起因する為替差損を計上したものの、営業利益の大幅な増加見込みにより、当初予想を900百万円上回る1,600百万円となる見込みであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失による影響があるものの、当初予想を300百万円上回る500百万円となる見込みであります。

通期業績予想につきましては、引き続き重点商品の投入、魅力ある売場提案等、積極的な事業展開を行ってまいります。最大商戦期である年末商戦の見通し等を精査する必要があることから、平成 28 年 5 月 10 日に公表した当初予想を変更していません。

なお、平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算発表は 11 月 8 日（火）を予定しております。

3. 特別損失の発生及びその内容（平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

平成 29 年 3 月期第 2 四半期会計期間（第 1 四半期計上分は除く）において、特別損失 541 百万円を計上いたします。

現在、TOMY International グループでは事業の集中と選択に取り組んでおり、その一環としてオセアニアにおける一部ベビー用品の無形固定資産の減損損失（510 百万円）等を計上いたします。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上